

マニラに滞在するときに勤務するオフィスからの撮影である。

私の机のすぐ後に、このパノラマが展開する。

朝、出勤し、まずはブラインド・チェーンを引き、広がる絶景に臨む。

まさに至福のひと時である。

人の心を癒してくれるのは、何と言っても水辺の風景である。

ここには、川（パシッグ・リバー）があり、その源は湖である。

その湖（ラグナ湖）はビル郡・奥側の地平線上に位置する。

日によっては、対岸湖畔の山々と共に、姿を現すこともあるが、いつもは霞んで空と一体となる。

パシッグ・リバーはラグナ湖の水を運び（画面右方向の）マニラ湾（東シナ海）に至る。

川はどこにあっても輸送の要であり、ここでも、大小の船やはしけが川沿いの工場や倉庫に行きかう。

そのゆったりとした動きが、また、なんともいえない安らぎを与えてくれる。

さて、川の真ん中に注目いただきたい。「矢切の渡し」ならぬ「パシッグ川の渡し」

この川のもっと下流側の場所を散歩したとき、私も試しに利用したことがある。料金は5ペソ（10円）

そのとき、橋下駄に白いペンキで大きく記されたスローガンを思い出す。

REVIVE THE PASSIG RIVER OF OUR DREAM（パシッグ川を、あの頃に戻そう）

実際、まだ相当に汚いが、各国の支援も受けながら、浄化はかなりのペースで進んできている模様。

70年代までは、川の底まで見え、魚をとったり、泳いだりするマニラ市民の憩いの場であった、と聞く。

工場や周辺住居からの垂れ流しが原因であろう。どこの国も辿ってきた道。がんばれフィリピン

